

一材型 早強・速乾型 断面修復用 超厚塗りポリマーセメントモルタル

シンコー 樹脂モルタルS 厚モル 一材型

NEXCO 断面修復材規格適応

シンコー樹脂モルタルS厚モル一材型は、粉末エマルジョンが混合された「一材型 早強・速乾型断面修復用厚塗りポリマーセメントモルタル」です。シンコー樹脂モルタルS厚モル一材型を使うことで、欠損部に対し70mmの厚みで施工が可能で、水引を見ながら金コテにて押さえが可能となり、大幅な工程短縮を実現する省力化商品です。

工程短縮

コスト削減

超厚付け

ダレ止め効果により
イッパツ厚付け

早強・速乾

所要強度が早期に得られ
次期工程まで時間短縮される

作業性

骨材粒度分布により
コテ作業性が良好

一材型

水練りOK！
高性能粉末エマルジョン配合



荷 姿：20kg
適用箇所：欠損部の断面修復、
梁・壁面の補修、各部補修



荷姿	標準調合	塗厚	単位容積 質量	標準施工 面積 (10 mm厚)	適用下地
20kg/袋	清水 約 2.7 ~ 3.0 ℓ	断面修復時 5 ~ 70 mm	2.01kg/ℓ	約 1.08 m ² ※練り上がり量 約 10.8 ℓ	コンクリート モルタル PC、ALC
		面施工時 5 ~ 15 mm			

施工方法と注意事項

◇下地調整

1. 下地の脆弱分はケレンで取り除き、ホコリ・ゴミ等は完全に清掃して下さい。その後水洗い又は高圧洗浄を行って下さい
2. 錆のひどい鉄部及び鉄筋は、ワイヤーブラシ等で、錆落としを行って下さい
3. 錆止め塗料を塗布する場合は、エポキシ系塗料とし、樹脂モルタルS下塗材で下地処理をして下さい
4. 乾燥後、シーラー（エチレン酢酸ビニル系）の4～5倍希釈液をむらなく塗布して下さい
※指触乾燥後次工程に移って下さい。 ※モルタル施工が翌日になっても再度プライマー処理を行う必要はありません

◇混練り（厚モル材型 20kg に対して、清水 2.7～3.0ℓ 3分間）

1. ベール缶などに清水を入れて、ハンドミキサーで攪拌しながら粉体を徐々に投入し均一に混練して下さい
2. 混練り量は、夏場 30分、冬場 40分以内に使い切る量とし、加水し繰り返さないで下さい
※ハンドミキサーは、1,000min⁻¹ [回転/分] 以上で、ディスク形状は、直径 150φ前後 鋸歯ディスク（缶切りタイプ）を推奨します

◇塗り付け

1. 下地に擦り込むようにコテ圧を掛けて、しごき塗りを行って下さい
2. しごき塗り後、追っかけて所定の厚さになるように、コテ圧を掛け塗り付けて下さい
※塗り厚が、70mmを超える場合は、数回に分け、夏場 3時間以上、冬場 5時間以上空けて施工して下さい
※面施工を行う場合には、1回の塗り付けを 10mm以内に抑え、夏場 3時間以上、冬場 5時間以上の間隔を取って塗り付けて下さい
※また、25mm以上かつ 0.3㎡以上、または、上裏に施工する場合は、仕様書に従い金物を併用して下さい

◇養生

1. 通風や直射日光、降雨・降雪を避け、シート掛け等の養生を行って下さい
※それでも乾燥が激しい場合は、翌日以降に散水養生を行って下さい
2. 仕上げ材の施工を行うには、夏場で 3日以上、冬場で 7日以上養生を取り仕上げて下さい

NEXCO 規格適応確認試験結果

※外部機関にて計測

要求性能	試験項目	試験体の履歴条件	基準値	結果報告	
				夏型	冬型
断面の修復に要する性能	硬化時間	—	断面修復材の硬化時間は、1時間以上であること	1.5時間	1.0時間
	断面修復材の 外観（塗装無し）	温冷繰り返し試験後	断面修復材は均一で、われ・はがれ・ふくれのないこと	均一で、われ、はがれ、ふくれを認めない	均一で、われ、はがれ、ふくれを認めない
	硬化収縮性	—	断面修復材の硬化収縮率は0.05%以下であること 硬化に伴う発熱により反り返りがないこと	0.05%以下	0.02%以下
	熱膨張性	硬化収縮試験後	断面修復材の熱膨張係数は、 $2.0 \times 10^{-5}/^{\circ}\text{C}$ 以下であること	$1.6 \times 10^{-5}/^{\circ}\text{C}$	$1.6 \times 10^{-5}/^{\circ}\text{C}$
	コンクリートとの 付着性	湿潤時	コンクリートと断面修復材との付着強度は、 $1.5\text{N}/\text{mm}^2$ 以上であること	1.8N/mm ²	2.2N/mm ²
		耐アルカリ性試験後		2.0N/mm ²	2.1N/mm ²
	温冷繰り返し試験後		2.1N/mm ²	1.9N/mm ²	
	塗装塗膜との付着性	温冷繰り返し試験後	塗膜と断面修復材との付着強度は、 $1.0\text{N}/\text{mm}^2$ 以上であること	1.9N/mm ²	1.7N/mm ²
力学的性能	圧縮強度	—	補修設計で定めた設計基準強度以上であること	47.3N/mm ²	39.4N/mm ²

取扱い上の注意事項と応急処置

- ・目に入ったり、皮膚に触れたりすると炎症をおこすことがありますので、保護眼鏡、保護手袋、マスクなどを着用して下さい
- ・目に入った場合は直ちに清水で15分以上洗浄し医師の手当を受けて下さい
- ・皮膚に触れた場合は、付着した部分を水または微温水で十分洗浄して下さい
- ・吸入し気分が悪くなった場合は速やかに新鮮な空気のある場所に移し、水でうがいし安静にして下さい。状況に応じて医師の手当を受けて下さい
- ・万一飲み込んだ場合は、診断を受けるまでの間に水を飲ませて吐き出させ、直ちに医師の手当を受けて下さい
- ・取扱い後は、洗顔、手洗い及びうがいを十分に行って下さい

保管上の注意事項

- ・屋内で湿気が少なく凍結しない場所に保管して下さい
- ・使用後は密封した状態で保管し、出来るだけ速やかに使い切ってください

破棄上の注意事項

- ・未使用の製品、固形状になったものは産業廃棄物として処理して下さい
- ・袋を破棄する時は中身を完全に除去して下さい

漏出時の注意事項

- ・粉末が漏出した場合は、掃除機などで吸い取るか、簞などで集めて袋などに回収し下水、河川、湖沼などへ流出しないように注意して下さい
- ※詳細な内容が必要な場合は、安全データシート（SDS）をご参照下さい



株式会社 シンコー



本 社 〒550-0015 大阪府大阪市西区南堀江 4-30-28
 TEL 06-6541-5755(代表) FAX 06-6541-8797
 E-mail: osaka@shinko-kenzai.com
 東京支店 〒339-0027 埼玉県さいたま市岩槻区尾ヶ崎 953
 TEL 048-798-3255(代表) FAX 048-798-5923
 新潟営業所 〒942-0063 新潟県上越市下門前 1737 オアシSMORI B号室
 TEL 025-543-3688 FAX 025-543-3689
 仙台営業所 〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台 2-17-18-101
 TEL 022-295-1708 FAX 048-798-5923
 エースコン事業部 〒273-0005 千葉県船橋市本町 6-2-10
 東京営業所 ダイヤパレスステーションプラザ船橋 714号
 九州出張所 〒814-0165 福岡県福岡市早良区次郎丸 4-4-6-602
 TEL・FAX 092-518-5562
 四国駐在所 大阪本社までお問い合わせ下さい
 明石工場 〒673-0023 兵庫県明石市西新町 2-12-14

URL <http://www.shinko-kenzai.com>
 E-mail osaka@shinko-kenzai.com

■詳しくはお気軽に当店までお問い合わせ下さい